

“「みんな言っているよ…」の「みんな」とは…”

よく聞く言葉に「みんな言っているよ」とか「みんな持っているのに」というのがあります。自分も子供の頃、親や先生に対して使ったことがあります。でも親からも、先生からも「そう」の一言だけで全く聞いてもらえなかったように思います。

歳を重ねて、いろいろな経験をしていくと、この「みんな」というのは、実は自分の友達、自分と同じ考え方をしている仲間だけのことではないかと思うようになりました。人は、自分と同じ考えや気が合う人と友達になり、一緒にいることが多くなります。そういう人たちに「これどう思う？」と自分の考えについて聞いても大概は自分と似たような答え、自分に賛成する答えが返ってきます。そもそも自分と違う考え方の人とは、一緒にいることも少なく、そんな話をすることもありません。そう考えると、この「みんな」は「すべての人」ではないということになります。最近自分は、自分の考えと違う人、「それ違うんじゃない？」と言ってくれそうな人と話をするのを意識的に増やすようにしています。最初は、「えっ」とか「なんで？」と、不満に思ったり、「イラッ」としたりすることもありましたが、話していくうちに自分の考え方の足りない部分に気づいたり、違ったものの見方を知ることができ、話してよかったと思えるようになりました。

皆さんはどうでしょうか。気の合う仲間、同じ考えの人と一緒にいることが多いと思います。今は、それでいいと思います。ただ、自分の考えと違う仲間、これを言う人「それ、違うよ、こうじゃないの」という人とも時々でいいので話してみるといいと思います。そうすることによって、皆さんの視野が広がり、多面的なものの見方を知ることができると思います。同じように苦手だなとか興味のないことにもたまにはチャレンジしてみてください。新しい自分の良さを見つけられるかもしれません。

今年度も始まったばかりです。皆さんには、「みんな」の枠を大きくしてほしいと思っています。理想は、「みんな」＝「すべての人」ですが、いきなりは難しいので、少しでも「みんな」の枠が「すべての人」に近づくようにしてみてください。

（余談です）「怒っているとき」は、頭が悪くなる

これは、以前に読んだ本に書かれていた言葉です。“怒りや恐怖など強い感情にとらわれると、愚かな行動に走りやすい”とサセックス大学教授も言っています。自分はこの言葉を見た時、なるほどと思ったのと同時に反省すべきことが多いと感じました。この本によると、怒っているときに下す判断は、まず間違っているそうです。世の中で成功している人も感情的になることは当然あります。ただ、その人たちの共通点は、感情的になることがどれだけ損失かを理解し、感情的になってもすぐに反応せず、感情をコントロールし、冷静になって考える方がメリットがあることを知っていて、その術を身につけているのです。難しいですが、自分の今年度の目標にしようと思っています。皆さんもどうですか？